

No.	530-120	事務事業名	ふるさと森林管理促進事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	自然環境の保全				所属G(係)	林務G
	基本事業名	0 2	森林の保全				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 森林・林業基本法	
	一般	0 6	0 2	0 5	94030	森林管理事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
山村の過疎化の進展及び森林所有者の世代交代等に伴い、不在村者の所有する管理不十分な森林を対象に森林の現況調査や所有者の実態調査を行い状況を把握し、地域森林の適正な整備管理を推進する。 (県補助事業。補助率は事業費の1/2)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
						<input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( 年度 ~ )	
						<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( H 16 年度 ~ H 23 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
森林所有者の実態調査 2,930名		ア	森林所有者の実態調査
森林の現況調査 4,100筆		イ	森林の現況調査
管理台帳の整備 11,250筆		ウ	管理台帳の整備
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
森林所有者の実態調査 1,370名、森林の現況調査 4,800筆		名称	
管理台帳の整備 4,800筆		単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ア	森林所有者数
溝辺・横川地区の森林所有者		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ウ	
計画的に除間伐するよう適正な整備・管理をさせる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		名称	
森林が保全される。		単位	
		ア	施業実施面積 / 森林施業計画面積
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	植林された森林面積
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	700	838	800	850		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	702	838	800	852		
事業費計(A)		千円	1,402	1,676	1,600	1,702			
活動指標		ア 名	17,527	2,330	2,930	1,370			
		イ 筆	5,583	1,482	4,100	4,800			
		ウ 筆	17,614	2,849	11,250	4,800			
対象指標		ア 人	22,974	22,974	22,974	22,974			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア %	4.09	4.54	3.88	5.06			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア ha	16	39	48	22			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
森林所有者の不在村化や、登記名義人の死亡等による森林管理者の不明などで荒廃した山林が増加傾向にあった。そのため、県が「ふるさと森林管理促進事業」を創設した。本市では、平成16年より旧溝辺町・旧横川町が開始する。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
木材価格が低迷している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
森林を適切に保全するため、森林整備へ更に支援の拡充を求める声がある。	

事務事業名	ふるさと森林管理促進事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 当事業により森林施業が進み、森林整備が図られ、その結果森林が保全されるため政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 森林・林業基本法第六条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されていることから、事業を実施することが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 溝辺・横川地区において合併前より継続で事業を行っているが、事業終了後他地区での事業実施を行うよう検討している。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 市内全地区において事業を実施すれば成果が向上すると思われるが、現状では財政難により県補助金の増額が見込めないため、地区を分けて事業を行わざるをえない状況である。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ この事業を中止・廃止すると、所有者や保全対象林の情報が分からなくなり、森林施業の推進が進まないため森林保全に影響が出る。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ この事業以外に森林所有者等の調査を行う補助事業がないため。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ この事業の事業費は臨時職員の賃金や事務費であるため、これ以上の削減は難しい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 県の実施要領に基づき事業を行っているため、人件費の削減は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ この事業は該当地区の全森林の調査を行い、所有者や管理者を特定し台帳作成を行い施業推進するものであるため、公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現在、この事業は合併前からの継続事業ということで溝辺・横川地区のみで実施している。市内全地区にて実施できれば成果が向上する余地があるが、県補助金の増額が見込めないため難しい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 溝辺・横川地区での事業が終了後他地区で実施するなど、県補助金を有効に使い実施したい。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 県補助金(事業費の50%)の増額が難しいため、溝辺・横川地区が終了後、他地区で事業実施ができればよいが、現状では不在村地主や管理者不明の山林が年々増加していくため、なかなか事業が終了しない。今後も市内全域で森林組合等と連携を密にし、放置林対策を行わなければならない。

No.	530-140	事務事業名	松くい虫防除事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	自然環境の保全				所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0 2	森林の保全				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	森林病害虫等防除法
	一般	0 6	0 2	0 2	91010	松くい虫防除事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
公益的機能の高い松林について、空中散布を主体とする薬剤の予防散布、薬剤の樹幹注入及び被害木の伐倒駆除を総合的に区組み合わせて防除を行い、松くい虫の被害の防止を図る。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 52 年度 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 景勝松へ薬剤の樹幹注入, 被害木の伐倒・くん蒸		名称 ア 景勝松林樹幹注入本数 単位 本	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 景勝松へ薬剤の樹幹注入, 被害木の伐倒・くん蒸		イ 伐倒・くん蒸 単位 m <sup>3</sup>	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 松林		ウ 航空防除 単位 ha	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 松林の健全な育成・保全を図る。		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 景勝松対象松 単位 本	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 保全される。		イ 被害木材積 単位 m <sup>3</sup>	
		ウ 対象松林面積 単位 ha	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 樹幹注入本数 / 景勝松対象松 単位 %	
		イ 伐倒・くん蒸量 / 被害木材積 単位 %	
		ウ 航空防除比率 単位 %	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 植林された森林面積 単位 ha	
		イ 単位 ha	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	5,563	4,814	2,205	1,847		
		地方債	千円						
		その他	千円	298		205	241		
	一般財源	千円	1,299	460	1,100	1,139			
	事業費計(A)	千円	7,160	5,274	3,510	3,227			
活動指標		ア 本	96	0	106	146			
		イ m <sup>3</sup>	91	48	119	100			
		ウ ha	122	128	0	0			
対象指標		ア 本	587	587	587	587			
		イ m <sup>3</sup>	136	72	219	150			
		ウ ha	316	281	-	-			
成果指標		ア %	16.4	0.0	18.1	24.9			
		イ %	66.9	66.6	54.3	66.6			
		ウ %	38.6	45.6	-	-			
上位成果指標		ア ha	16.0	39.2	47.6	22.0			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
移入虫であるマツノダラカミキリ虫が媒介するマツノザイセンチュウで松が枯死するため、昭和52年度から森林の荒廃を防ぐために開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
10年周期くらいで被害量は増えたり減ったりを繰り返している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
航空防除に対し、養蜂家の同意が得られず平成20年度から休止した。	

事務事業名	松くい虫防除事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 松林の健全育成・保全を実施することで政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 観光客や市民の訪れる憩いの場の自然環境の保全を図ることを目的としているので公共関与は妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象については松林で、意図については健全な育成・保全であるためそれぞれ妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 散布薬剤によるミツバチへの影響で養蜂家への理解が得られないため航空防除ができない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 松くい虫による松枯れ被害が拡大する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費の削減は事業量(成果)の縮小に繋がる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 委託で事業を行うため人件費には影響しない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 観光資源としても松林を保全することは、広く市民にとっても有益であるので公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	養蜂家への理解が得られず平成20年度から一般航空防除が休止せざる得なくなつたが、その影響が懸念される。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 航空防除が休止せざる得ないので、伐倒くん蒸、樹幹注入で被害拡大防止に努める。また、養蜂家の理解が得られれば航空防除も実施したい。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 養蜂家の理解が得られない。打開する方法を模索する。																						



事務事業名	森林維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ 市の所有する山林を適切に維持管理することによって森林が保全されるので政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ 市有林のため、市が管理を行わなければならない。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象が市有林であり、この意図が市有林の維持管理であるため妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 近年、企業が環境保全を目的に自治体へ寄付を行っている。本市でも19年度にトヨタ車体より寄付があり森林整備を行ったが、今後もこのような寄付を募り森林施業を行えば成果の向上余地はある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 市有林の維持管理を図らなければ森林が荒廃するので、市への管理責任を問われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 他に手段は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 補助事業により施業できるところは積極的に補助事業を導入しているので事業費を削減することは困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 現在、市有林の施業は森林組合等の事業体に委託(入札形式)しているため、人件費の削減も困難である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 市有林の維持管理事業であるため、一部の受益者に偏ることは無い。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市有林の森林施業については補助事業を活用できるところは積極的に利用している。また、森林組合等の事業体が行う「緑の雇用担い手育成事業」での研修場所として市有林を積極的に利用してもらい、無料で施業を実施してもらっている。加えて、寄付事業への参入を企業等に募り森林施業を行えば成果の向上を図れる。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																	
全国的に企業の業況が低迷する中での植林事業等への参入を促すには厳しい状況である。植林等の場所確保と小規模であっても事業参入していただける企業の開拓を根気強く行う。																	

No.	530-160	事務事業名	森林環境税事業				所属部	農林水産部		
							所属課	林務水産課		
政策体系	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃	
	施策名	0	1	自然環境の保全				所属G(係)	林務G	
	基本事業名	0	2	森林の保全				電話番号	45-5111	
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令			
	一般	0	6	0	2	0	5	94025	森林環境税関係事業(補助)	根拠
	一般	0	6	0	2	0	5	94035	森林環境税関係事業(単独)	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
市で委嘱した森林づくり推進員活動等を利用し、間伐未実施林分の把握、森林所有者への間伐の督促、選木、伐採の指導及び現地調査を行い、森林の一体的かつ効率的な整備、森林の多面的な機能の維持、増進を図る。また間伐作業に必要な作業路等開設に係る経費を50%助成することにより、森林所有者の施策意欲が向上し、健全な森林を育み、森林の持つ公益的機能の維持を図る。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 森林づくり推進員活動事業 265日 森林づくり基盤整備事業(作業路・集材路開設) 17,280m 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 森林づくり推進員活動事業 265日 森林づくり基盤整備事業(作業路・集材路開設) 22,500m		名称 単位 ア 推進員活動日数 日 イ 作業路等開設延長 m ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 森林所有者・民有林		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 森林施業計画面積 ha イ 林業作業従事者数 人 ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施業が進み、森林の整備が図られる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 施業実施面積 / 森林施業計画面積 % イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 森林が保全される。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 植林された森林面積 ha イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	1,728	831	795	795	
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	8,514	3,085	5,195	6,095	
事業費計(A)		千円	10,242	3,916	5,990	6,890		
活動指標		ア 日	289	277	265	265		
		イ m	2,262	4,220	17,280	22,500		
		ウ						
対象指標		ア ha	29,964	29,964	29,964	29,964		
		イ 人	673	527	146	500		
		ウ						
成果指標		ア %	4.10	4.50	4.70	5.20		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア ha	16.0	39.2	47.6	22.0		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年度から森林環境税を財源とする事業が始まり、森林づくり推進員(間伐推進員)活動補助がスタートした。また、造林事業等も始まったため、作業路・集材路開設に対する上乗せ補助を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
木材価格が低迷している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
森林所有者から、森林を適切に保全するため更に支援の拡充を求める声がある。	

事務事業名	森林環境税事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 当事業により森林施業が進み、森林整備が図られ、その結果森林が保全されるため政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 森林・林業基本法第六条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されており、森林の保全は市の役割としていることから支援することが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 国・県の補助制度と同様の対象・意図を設定しているため、妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 施業意欲や木材価格の低下等により、森林所有者からの同意が得られず適切な森林整備が行われない民有林(放置林)が一部あるため、間伐推進員を増員することにより成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 現在木材価格が低迷しており、補助金がないと施業経費がまかなえない状況であり、廃止すれば施業面積が減少するおそれがあり、森林保全へ与える影響が大きい。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 県の補助事業として作業路等開設に係る費用の50%を補助している。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 市の支援事業(作業路等開設事業費の50%)として、県補助事業に採択された箇所に対して補助を行うことで、事業が実施されているのが実態であり、既に連携がなされており、これ以上の連携は難しい。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 木材価格が低迷している現在、森林所有者は補助金がないと施業経費がまかなえない状況であり、これ以上事業費を削減するのは困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金の支払い事務が大半でありこれ以上の業務時間削減は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ この事業は森林組合を通じて山林所有者への補助(施業の推進や作業路開設等)を行う事業であり公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず放置された森林も存在しているため、森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、森林整備を積極的に進めることで事業の有効性が高まる。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 一部には放置林等も存在するため、森林整備計画において要間伐森林(早急に実施する必要があるもの)を指定し、森林の所在、間伐の実施時期等を規定し施業実施したい。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 森林整備にあまり関心のない森林所有者(不在村地主等)の森林は、施業の同意が得られず放置林となっている。今後森林整備を進める上で不在村地主等への施業の推進を図る等の対策が重要である。																						



事務事業名	森林整備事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 当事業により森林施策がすすみ、森林整備が図られ、その結果森林が保全される。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 森林・林業基本法第六条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有する」と規定されており、森林の保全は市の役割としていることから支援することが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 国・県の補助制度と同様の対象・意図を設定しているため、妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 施策意欲や木材価格の低下等により、森林所有者からの同意が得られず適切な森林整備が行われない民有林(放置林)が一部あるため、間伐推進員活動等をさらに活用することにより成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 現在木材価格が低迷しており、補助金がないと施策経費の負担増となる。廃止すれば施策面積が減少するおそれがあり、森林保全へ与える影響が大きい。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ 国・県の補助事業として施策に係る費用の68%を補助している。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 市の支援事業(施策に係る費用の10%)として、国・県補助事業に採択された箇所に対して補助を行うことで、施策が実現されているのが実態であり、既に連携がなされており、これ以上の連携は難しい。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 木材価格が低迷している現在は、補助金がないと施策経費がまかなえない状況であり、これ以上事業費を削減するのは困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 業務内容は補助金の支払いの事務であり、これ以上の業務時間削減は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ この事業は、森林組合を通じて山林所有者を対象として補助を行う事業であり公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>近年木材価格が低迷している中、本事業等の効果から森林整備への関心が高まりつつあり比較的間伐や造林が進んでいる。一方で、森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず放置された森林も存在しているため、森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、森林整備を積極的に進めることで事業の有効性が高まる。</p>
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
<p>&lt;改革改善案&gt; この事業により森林所有者の意識が高まり森林保全が進んでいるが、一部には放置林等にも存在するため、保全・管理等を適切に実施するため、森林整備計画において要間伐森林(早急に実施する必要があるもの)を指定し、森林の所在、間伐の実施時期等を規定し施策実施したい。</p>																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
森林整備にあまり関心のない森林所有者(不在村地主等)の森林は、施策の同意が得られず放置林となっている。今後森林整備を進める上で不在村地主等への施策の推進を図る等の対策が重要である。

No.	320-080	事務事業名	低公害車購入支援事業	所属部	生活環境部
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり	所属課	環境衛生課
	施策名	0 1	自然環境の保全	課長名	今村 政憲
	基本事業名	0 3	温室効果ガスの発生抑制	所属G(係)	環境保全G
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 4	0 2	0 1	66090	環境衛生総務費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
<p>自動車の排気ガスが大気を汚染している原因の一つであることから、排気ガス内の有害物質が少ない低公害車の普及を図るため、補助制度が設けられた。</p> <p>補助金の対象者は本市に住所を有する個人、法人等とし、経済産業省資源エネルギー庁の補助である「クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金」の補助事業者として国から採択された事業者(以下「採択事業者」という。)が実施する購入補助に応募し、その補助金交付確定通知書を受領したものを対象とする。ただし、当該確定通知額が10万円以上のものに限り交付する。補助金の額は、採択事業者が実施する補助金の額が10万円以上100万円未満のときは10万円とし、100万円を超えるときはその額の10分の1に相当する額とする。1,000円未満の端数があるときはこれを切り捨てた額で、限度額は40万円とする。</p>	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 11 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																						
<p>手段(主な活動)</p> <p>20年度実績(20年度に行った主な活動)</p> <p>これまで主に補助してきた普通車が、平成19年度から財団法人等が行っている補助の対象車から外された為、平成20年度実績はなし。今後は電気自動車等の次世代車がある程度普及するまで補助金の申請件数は減少すると思われる。</p> <p>21年度計画(21年度に計画している主な活動)</p> <p>低公害車を購入した市民に補助を行う。</p> <p>対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等</p> <p>市民</p> <p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)</p> <p>低公害車の普及を図り、排気ガス内の有害物質(CO2等)の排出を削減する。</p> <p>結果(どんな結果に結び付けるのか)</p> <p>CO2の排出削減に取り組む。</p>	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 補助金交付者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 補助金交付台数</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 省エネ対策に取り組んだ市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 補助金交付者数	人	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 人口	人	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 補助金交付台数	台	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 省エネ対策に取り組んだ市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位																																						
ア 補助金交付者数	人																																						
イ																																							
ウ																																							
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																							
名称	単位																																						
ア 人口	人																																						
イ																																							
ウ																																							
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																							
名称	単位																																						
ア 補助金交付台数	台																																						
イ																																							
ウ																																							
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																							
名称	単位																																						
ア 省エネ対策に取り組んだ市民の割合	%																																						
イ																																							
ウ																																							

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)				
投入量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,400	1,800	0	1,800		
	事業費計(A)	千円	2,400	1,800	0	1,800			
	トータルコスト(A)+(B)		千円	2,400	1,800	0	1,800		
	活動指標	ア 人	24	18	0	20			
	対象指標	ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	成果指標	ア 台	24	18	0	20			
上位成果指標	ア %	66.3	79.7	82.3	73.0				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
旧国分市において、環境にやさしい生活及び限りある資源の節減に資するため、低公害車を購入する市民に対して、平成11年4月より補助金を交付することとし、合併後も霧島市に引き継いだ。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
平成14年度は0人であったが、平成19年度は18人へ補助しており、普及してきたところであるが、主に補助してきた普通車が、平成19年度から国の補助の対象車から外されたので、今後しばらくは電気自動車等、次世代車の購入がある程度一般的になるまで補助金の申請件数は減少すると思われる。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
ディーラー、一般市民、議員等よりハイブリッド普通車は補助対象ではないのか、頻りに問い合わせがある。平成19年度より、本制度の基である経済産業省資源エネルギー庁所管補助「クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金」の補助対象から除外扱いとなっている。

事務事業名	低公害車購入支援事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課																					
<b>2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘	低公害車を購入することにより、排気ガス内の有害物質(CO2等)の排出を削減することができるため、市民に省エネ対策に取り組んでもらうことに結びつく。																						
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘	霧島市環境基本条例第4条において、市は地域の自然的社会的条件に応じた環境の保全及び形成に関する総合的かつ計画的な施策を策定し、これを実施する責務を有すると規定されているため、妥当である。																						
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘	霧島市低公害車購入費補助金交付要綱に基づく事務事業であるので、適切である。																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘	主に補助してきた普通車が、平成19年度から財団法人等が行っている補助金の対象車から外されたので、今後は電気自動車等、次世代車の購入がある程度一般的になるまで補助金の申請件数は減少すると思われる。今後、電気自動車の量産状況を注視しながら、広報等を活用し普及を図りたい。																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘	廃止、休止した場合、低公害車の普及率が下がる。																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘	他事務事業及び類似事業がない。																						
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘	補助金交付額を減額することが考えられるが、一般的に低公害車の販売価格が高額であることから、低公害車の普及を妨げる恐れがあるので削減余地はない。																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘	本庁1名で対応しており、事務量も少なく本事業に関する人件費は少額であるため、これ以上の削減余地はない。																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘	低公害車購入に伴い、霧島市低公害車購入費補助金交付要綱に基づき補助金請求した市民に支給するため、費用負担は適正である。																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	主に補助してきた普通車が、平成19年度から資源エネルギー庁が行っている「クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金」における補助事業の対象車から除外されたので、今後は次世代車が対象になるまで補助金の申請件数は減少すると思われるが、霧島市環境基本計画において市の取組事業としていることから、今後も事業を維持継続していく。																							
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携		<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		コスト																						
<改革改善案>				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 電気自動車等の次世代車が量産化されるまでの間、補助の需要が減少する。この間、ハイブリッド普通車への買い替えを促進するような経過補完的補助の制度化については、この度、国の補正予算で実施された環境対応車の買い替え補助の結果について検証を行った後、検討を行う。(単に新規購入のみの補助では、環境衛生課からの視点では援助し難い。従来の車からすぐれた環境対応者(ハイブリッド車)への買い替えを促進し、温室効果ガスの発生を抑制する必要がある。)																										



事務事業名	みどりの少年団育成事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 時代を担う少年少女の体験活動を通じ、自然環境に対する関心を高めることから政策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 少年少女の育成は次世代の森林づくりのためにも必要であることから行政関与は妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 少年少女のリーダー育成という見地から妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 学習内容の充実を図る	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 現在自然に触れ合う子ども達が少ない中、この事業が廃止となるとなると一層その体験活動の機会を失うことになる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ なぎさの少年団活動費補助	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 活動経費としての体験学習等の部分を補助しているため教材費等の削減はできない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 自主的活動がほとんどであり、予算執行事務が主なものであり削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 受益機会は全小・中学校へ呼びかけているので、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域ごとに組織があるわけではなく公平性に欠ける感はあるが、対象地域への少年団組織の設立、活動内容充実について呼びかけていく。 (なぎさの少年団との連携を検討し事業集約を行う)

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 今後、組織、活動内容等を再検討し、まず現体制を維持しながら新しい体制づくりをする必要がある。その上で健康で明るい心をもった人間を育てることを目的とした少年団活動(森林での学習活動、ボランティア、キャンプ等)を行う。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
現状では、各学校単位で組織しているものを多くの学校に呼びかける。



事務事業名	なぎさの少年団育成事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事業を通して錦江湾の生物を知る機会が得られ、錦江湾の環境に対する関心と理解が深まるので政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 小学生のうちから渚に関する多様な経験活動を実施することで、環境問題や自分達の手で身近な海を守っていかなければならないという意識を持ってもらう動機づけを行えるため妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 一部の地区の生徒に限らず、対象を拡大する必要がある。意図は、関心を持たずことから入ることで妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 事業目的以上の成果向上は見込めない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 現在自然に触れ合う子ども達が少ない中、この事業が廃止となるとなお一層その体験活動の機会を失うことになる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) みどりの少年団 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ みどりの少年団等森林関係の事業と連携することにより、山から海までとよりいっそう充実した活動が出きると考える。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は海岸周辺の清掃活動等の必要経費であり、これ以上の削減は難しいと考える。 (事業の備品・消耗品等68,000円 補助事業費34,000円)
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 自主的活動がほとんどであり、予算執行事務が主なものであり削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 受益地区は福山小学校のみに限定されているが、門戸は広げているので公平・公正である。 (呼びかけをしていく必要あり)

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域ごとに組織があるわけではなく公平感にける感はあるが、各少年団組織の設立、活動内容について呼びかけていく。 (みどりの少年団との連携を検討し事業集約を行う)																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 対象範囲を拡大するために他地域の小学校等の協力を求める。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 内容についての検討を学校や地域とも連携を取り行う。																	

No.	530-220	事務事業名	鮎まつり開催事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	自然環境の保全				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 4	環境学習の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 3	0 2	96010	水産業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
イベントを開催し、市の貴重な天然資源のひとつであり豊かな自然の象徴である鮎を広く市内外にPRするとともに、河川の環境保全・資源保護啓発の推進を図る事業である。 隼人地区の天降川河川敷公園で年に1回、6月1日の鮎解禁日後の日曜日に開催。関係団体(地域、漁協や商工会、旅館、観光協会など)によって組織される鮎まつり実行委員会が主催する。 鮎の塩焼き・鮎飯の試食・活き鮎販売・魚のつかみ取り・×クイズ各コーナー他を設置し実施する。 19年度については鮎の売上金も事業費の中に入っている。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 元年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 鮎まつりイベントの開催 事業費 1,439,867円		名称 ア イベント開催数 単位 回	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 鮎まつりイベントの開催 事業費 1,726,180円		イ 鮎まつりの参加者数 人	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民及び市外からの来客者 補助対象者 鮎まつり実行委員会 対象活動 鮎まつりイベント開催にあたっての経費、会の運営費		ウ 設置されるコーナーの数 箇所	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自然体験を通じ天降川が鮎の生息する自然豊かな川であることを知り、そこで息づく川の生物を知る		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 来場者数 単位 人	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 環境に関する関心と理解を深める		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 川の生物に関する ×クイズの参加者 / 来場者数 単位 %	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 環境学習に参加したことのある市民の 単位 %	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,300	913	935	1,000	
事業費計(A)		千円	1,300	913	935	1,000		
活動指標		ア 回	1	1	1	1		
		イ 人	8,000	8,000	9,000	10,000		
		ウ 箇所	7	7	8	8		
対象指標		ア 人	8,000	8,000	9,000	10,000		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア %	3	3	3	3		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	25.7	17.1	15.7	29.0		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
開始時期...平成元年 川の漁業協同組合より祭を通して天降川の鮎を県内外にPRを行いたいとの要望があり開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
来客数も年々増加し、鮎のPRや河川の環境保全・資源保護啓発が図られてきた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特色のある祭で周知度もアップしており、継続してほしい(実行委員会及び参加者からの意見)	

事務事業名	鮎まつり開催事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ まつりでの自然体験や川の生物を知る事により天降川が自然豊かな川である事を知る機会が得られ、川の環境に対する関心と理解が深まるので結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 環境問題について関心が多い昨今、市民ひとりひとりが環境問題や自分達の川を守っていかなければならないという意識を多くの市民に持ってもらう動機づけを行う事業であるため妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象は市、県内外を問わず多くの人が来場でき妥当である。意図もまつりを通して霧島市を流れる天降川の自然を市、県内外にアピールし環境に関しての意識を高めてもらうために妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 実行委員会の会合数を増やし、自分達のまつりであることを意識し、積極的にアイデア等を出し合い更に内容を検討することで成果向上の余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 廃止した場合、霧島市の川は鮎が遡上する自然豊かな川であることを県内外の人々に知ってもらう機会が減る。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 鮎漁に合わせた時期に開催するまつりであり、同時期に連携できるような事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ まつり当日の鮎の売上げが増加すれば事業費削減の余地あり。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 今後更に地域や各種団体の協力を準備段階からいただく事で業務時間の削減余地がある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 霧島市民を問わず県内外の参加したいと思うすべての人が対象であり、公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市の貴重な天然資源のひとつであり豊かな自然の象徴である鮎を広く市内外にPRするという点では公平で妥当なまつりである。地域住民や関係機関と一緒に鮎まつりを盛り上げていけるよう、内容の充実をはかり、少ない補助金でいかに効率をあげるかが今後の課題である。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 関係機関や地域住民と一緒に取組み、少ない予算で事業内容の充実を図る。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 早い段階で実行委員会を立ち上げ、地域や各種団体と一緒にまつりに向けて準備を進めていく。																	